

第4回 番組審議会議事録

平成 17 年 10 月 4 日
株式会社シーエス・ワンテン

○開催年月日 平成 17 年 10 月 4 日
○開催場所 赤坂エクセルホテル東急

○番組審議委員長
野崎 茂

○番組審議委員
ばばこういち
石田 則明
高木 美也子
黒鉄 ヒロシ
戸張 捷
藤田 興彦
元村 直樹

欠席委員 下村 満子

○シーエス・ワンテン
別府 孝祐（社長）
入江 武彦（副社長）
吉田 勝文（編成局長）
高島 英雄（技術局長）

○審議内容

1. 「テレ朝チャンネル営業概況について」・・・シーエス・ワンテンより説明
2. 「テレ朝チャンネルの編成内容について」・・・シーエス・ワンテンより説明
3. 審議（テーマ：テレ朝チャンネルの番組内容）

○各委員発言要旨

テレビ朝日として地上波／BS／CS放送で各々の特性を生かした戦略が必要。CS放送は地上波のアーカイブ再放送媒体とは思わない。CS放送は何でも扱う総合古本屋ではなく専門書を扱う古本屋になるといった棲み分けが可能ではないか？総合編成を目指す場合も目標を定めて社会的にも文化的にも価値あるチャンネルであるべき。

CS放送は宝（面白い物）の詰まったおもちゃ箱だと思う。興味のない本が多数揃っている総合古本屋的ではいけない。ニッチなコンテンツを揃えると良い意味でマニアックな専門的古本屋になれる。総合編成で100万人の視聴者獲得をめざすのも結構だが、いずれ行き詰まるのではないかな。

以前は「母と子」をテーマにアニメ・ドラマ中心の番組編成で限られた視聴者向けだったが、最近「あの人この曲」等これまでと違った音楽番組やスポーツなども増えて多様な番組編成となり幅の広い視聴者の期待に応えていて、評価している。

C S放送の中には同じテレ朝系で専門チャンネルがあり、今後のC S放送全般への取組についての方針・考え方を整理しておいた方がいいのではないか。

有料で視聴者向けに放送サービスしている以上、視聴者の要望や意見を収集・数量的に分析して、番組編成に反映するのが望ましいと思うので、その方法について検討したらどうか。

視聴者の意見・要望は大切にすべきと思う。110度C S放送全体もアニメ等の専門チャンネルや幾つかの総合編成チャンネルもあり内容も良くなっている。地上／BS／CSの棲み分け戦略は明確にして進めてもらいたい。

以前より番組内容が総合編成化して充実してきたので評価している。

ケーブルでは視聴率に相当するデータを収集し戦略に生かし始めており参考にすべきではないか。また、「テレ朝チャンネル」は総合編成を目指しているが、C S放送では、セグメント化された視聴者層への番組提供をした方が存在感が出ると思う。総合編成でいく場合にもコンテンツのバランスが今後の課題。